

# 令和5年度病害虫発生予察情報 発生予報第9号(9月)

令和5年9月27日  
発表：福島県病害虫防除所

## 1 野菜・花き

作物名	病害虫名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
夏秋トマト（被覆栽培）	灰色かび病	全 域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった（±）。	多湿条件で発生が多くなるので、換気を十分に行う。
	葉かび病	全 域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった（±）。	多湿条件で発生が多くなるので、換気を十分に行う。
	すすかび病	全 域	—	やや少ない	発生ほ場割合は例年より低かった（－）。	多湿条件で発生が多くなるので、換気を十分に行う。
	アブラムシ類	全 域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった（±）。	ほ場をよく観察し、発生が多い場合は、速やかに防除を実施する。 ほ場の開口部をネット被覆するように努める。
	コナジラミ類	全 域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった（±）。	ほ場をよく観察し、発生が多い場合は、速やかに防除を実施する。
野菜・花き共通	タバコガ類	全 域	—	多い	発生ほ場割合は平年より高く（+）、フェロモントラップの誘殺数も平年より多かった（+）。	生長点付近をよく観察し、寄生や被害が見られた場合は、速やかに防除を行う。
	ハスモンヨトウ	全 域	—	多い	フェロモントラップの誘殺数が平年より多く（+）、天候予報（仙台管区气象台9月21日発表）によると、向こう1か月の気温はかなり高くなると予想されている（+）。	防虫ネットを設置し、施設内部への侵入を防ぐ。ほ場をよく観察し、寄生や被害が見られた場合は、速やかに防除を行う。

注）予報の根拠の中で（+）は多発要因、（－）は少発要因、（±）は平年並要因であることを示す。

### ○注意が必要な病害虫

夏秋トマト（被覆栽培）	<p><b>■トマトかいよう病</b></p> <p>ほ場での発生が確認されています。本病は種子や土壌中の残渣に生存している病原細菌が第一次伝染源となり、その後、芽かきや収穫、誘引などの管理作業による二次伝染により被害拡大します。発病が確認されたほ場では次年度に持ち越さぬよう、発病株を速やかに抜き取り、残渣等はほ場外に持ち出し適切に処分してください。</p>
	<p><b>■トマトキバガ</b></p> <p>本種は体長約5～7ミリの微小な蛾で、南米大陸が原産です。トマトなどのナス科作物に大きな被害を与えており、幼虫が茎葉や果実をせん孔しながら加害します。</p> <p>本種は、令和3年10月、熊本県の施設トマトに国内で初めて発生が確認されて以来、令和4年には九州全域、近畿地方で確認されています。本年に入り北海道・東北地方では、北海道、青森県、秋田県、岩手県、宮城県でフェロモントラップへの誘殺が確認されています。本県では、8月にフェロモントラップでの誘殺を確認して以降、9月現在も誘殺を確認しています。今後県内でも被害が発生する可能性があります。発生が疑われる場合には、各農林事務所（農業振興普及部・農業普及所）、農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）又は生産環境部作物保護科へ連絡ください。</p>

より詳しい発生状況や防除対策は、

福島県病害虫防除所ホームページ<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>をご覧ください。

お問い合わせはTEL:024-958-1709、FAX:024-958-1727またはe-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jpへお願いします。